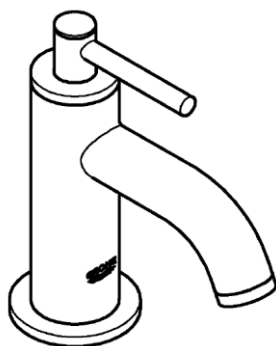


ATRIO 洗面単水栓 取扱説明書 (お客様用)

- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は(付属の保証書)お読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次にご使用される方にこの説明書と別添の保証書をお渡しください。

工事店さまへのお願い

この取扱説明書と、別添の保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。








安全上のご注意	1
各部の名称	3
ご使用前に	3
ご使用方法	3
冬期凍結の恐れがある場合	4
お手入方法	4
日常のお手入れ	4
定期的な点検	5
修理を依頼される前に	5
定期的な部品交換	6
アフターサービスについて	6

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明

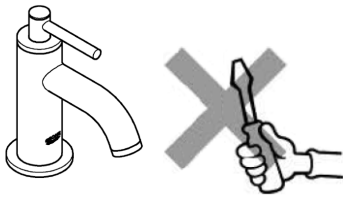
 注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

⚠️ 注意



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理は行わないでください。

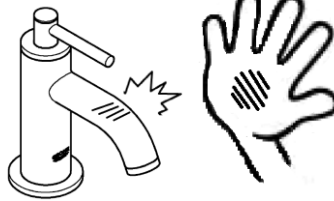


器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときは、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにして下さい。



ヤケドをする恐れがあります。



禁止

首振り操作はできません。乱暴に扱おうとゆるみを起こすことがありますので、首振り操作はしないでください。



ゆるみで家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。



禁止

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。



荷重を加えない

器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



ハンドル操作の急停止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

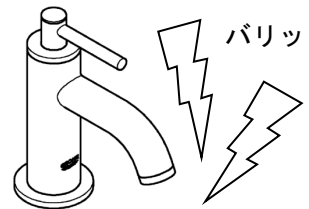


ゆっくり

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



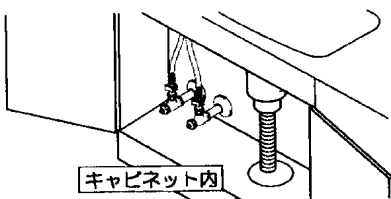
凍結が予想される際は、水抜き方法に従って配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。



凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



キャビネット内に物を出し入れするとき、給水管に引っ掛けるなど、無理な力が加わらないようにして下さい。

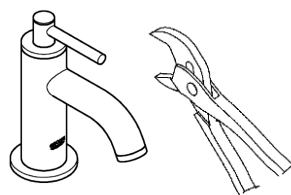


給水・給湯管および逆止弁が外れるなど、破損による漏水の原因となります。



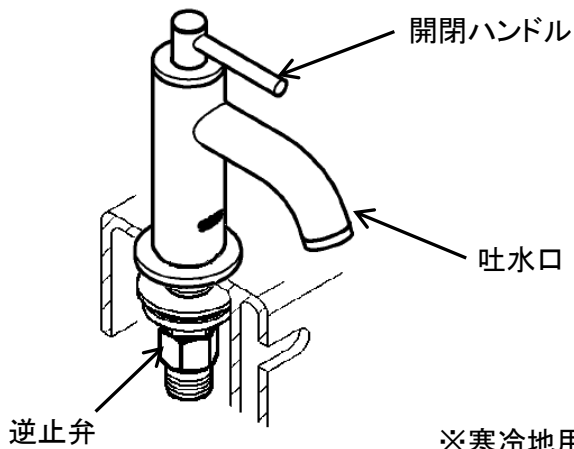
改造禁止

改造は絶対に行わないでください。



器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

各部の名称



※寒冷地用は、逆止弁が付属しません。

ご使用前に

- キャビネット内の止水栓が開いているか確認してください。
閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
- ※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



ご使用方法

開閉ハンドル

開閉ハンドルを回すことにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

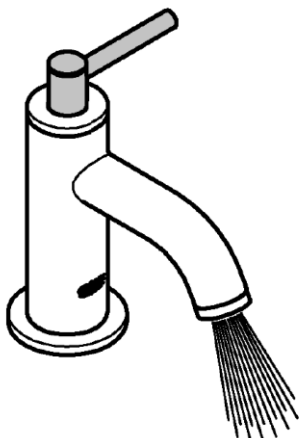
- 左に回して → 吐出が始まります
 - 右に回して → 吐出が止まります
- ※約90°で全開です

注意

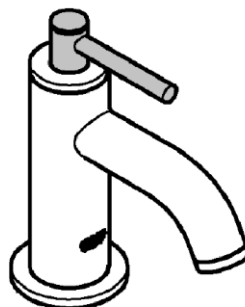
ハンドル操作はゆっくりと行って下さい。

- ※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がかたり、吐水温度が急激に変わります。
- ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

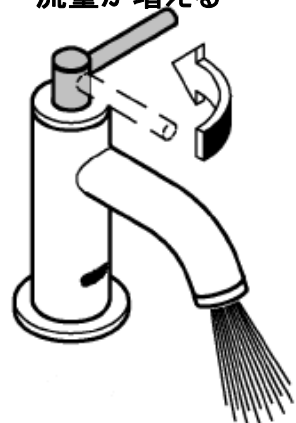
全開



止水



右に回すと
流量が増える



冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。(一般地仕様の場合)
寒冷地仕様の場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行って下さい。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。破損の状況によっては有料の本体交換になる場合もありますのでご注意ください。

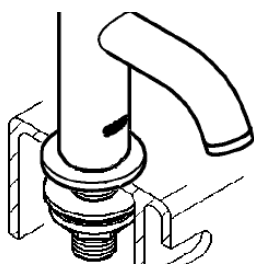
注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

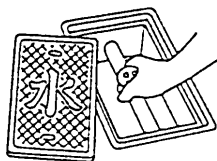
- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

寒冷地仕様の場合

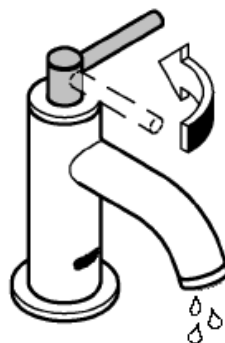
1. 逆止弁が取外していることを確認してください。
(寒冷地用には逆止弁は付属していません)



2. 屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。



3. 水栓の開閉ハンドルを開栓してください。



注意

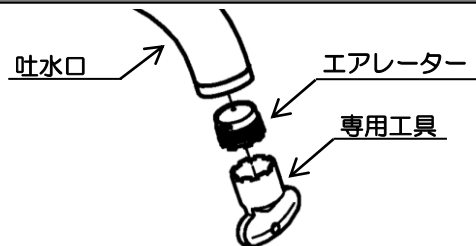
※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。
※水抜けが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。
※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。
※水抜き操作後は必ず水栓のハンドルを閉栓してください。

お手入れ方法

エアレーターの清掃

整流器(エアレーター)のゴミ詰りは吐水量が低下します。
ときどき次の要領で清掃してください

- ①ハンドルを止水状態にします。
- ②専用工具を使用して、エアレーターをゆるめます。
- ③エアレーターのゴミを取り除きます。



※改善しない場合はエアレーターの交換が必要になります。

※新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。
そのあと水でぬらした柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合はすぐに水洗い等をし、柔らかい布でしっかり拭き取ってください。



定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

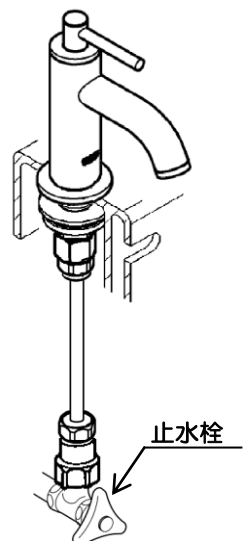
配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

- ◎配管まわりの水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・摩耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。



修理を依頼される前に

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミが ストレーナにたまって きた。	吐水口先端のストレーナにゴミ詰りが ないか確認してください。 ※「ストレーナの清掃」をご参照 ください。
水の量が多すぎる 使用時に高い音がる	②水の圧力(勢い)が 強過ぎる。	止水栓を締め込んで水の量を適量 に調整してください。
完全に止水できない	③内部ヘッドパーツに ゴミが付着、または破 損している。	販売店、取付工事店に連絡して ヘッドパーツを洗浄、または交換 する。

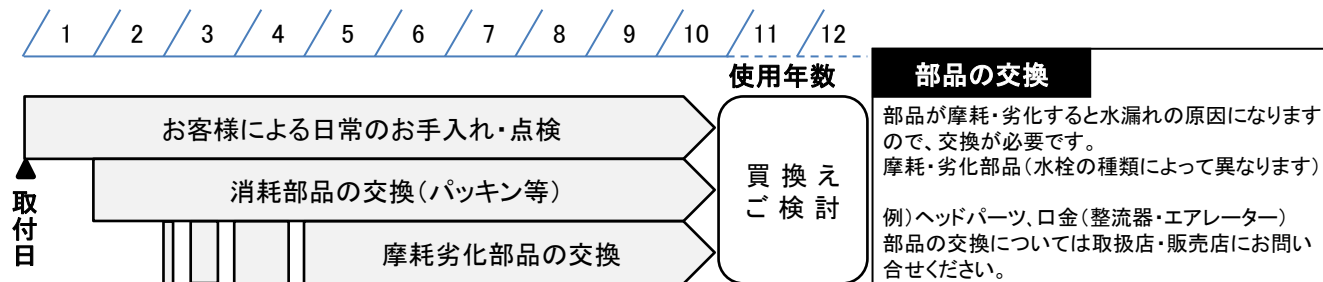


※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、または当社サービスセンターへご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

◆定期的な点検・部品交換のめやす



補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店にお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、有償にて修理を承ります。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”+“消費税”+“必要な経費”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 希望訪問日・在宅可能日時

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター 受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)

0570-666-368

平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のお問合せのみ)

単水栓 一般地用

品質確認 実施工場	株式会社LIXIL 半田工場
認証登録 番号	C-89
性能項目	耐圧性能、浸出性能 水撃限界性能、逆流防止性能
特記事項	なし

単水栓 寒冷地用

品質確認 実施工場	株式会社LIXIL 半田工場
認証登録 番号	C-150
性能項目	耐圧性能、浸出性能 耐寒性能、水撃限界性能
特記事項	寒冷地用(耐寒性能適合品) 「寒・逆止なし」

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>